

「えっ」そんなことが厚木基地で CBRN 対応訓練 生物・化学兵器・放射線・核兵器

恐怖の核戦争想定のみ陸軍実戦部隊が厚木基地に！

厚木基地での様々な軍事訓練



▲米陸軍パトリオット部隊(嘉手納基地所属)が、厚木基地にPAC3などの車両20台を配置して実働演習を実施。(2020年10月26日から11月5日)基地周辺住民に不安が広がる。



住宅上空を旋回し、爆音をまき散らす自衛隊機 2020年7月

土地規制法は廃案に！

土地規制法が成立。米軍・自衛隊基地など1キロ圏を「注視区域」に指定、調査を拒否すると誰でもが刑事罰の対象に。立法根拠が曖昧、政府の参考人さえ懸念を示し、移転の自由・思想信条の侵害など、国民主権への侵害が明らかに、廃案に持ち込もう。

CBRN 対応訓練は中止を

厚木基地内で「生物・化学兵器・放射線・核兵器」の対応訓練を米陸軍部隊が来て行っています。訓練は大量破壊兵器を使用した実働演習、核兵器・化学兵器禁止条約など、国際法違反の兵器、訓練を行う理由が明確でないのです。即刻、中止を厚木基地司令官に申し入れました。

訓練は2月5日～9月30日の長期間、基地周辺住民に、何の説明もなく、「危険物は持ち込まない」と言っているとし、政府は周辺住民の不安に答えようとしていません。

米国内では人口密集地で、このような危険極まりない訓練が行われるなどありません。有事には最初の攻撃目標となり、厚木基地周辺住民が犠牲になると不安が広がっています。

米空母艦載機を厚木基地から岩国に移転、爆音を軽減したと言っていますが、程遠い状態、軍事基地のたらい回し利用を許しません。

市民の皆さんと力を合せ、基地機能強化を許さず、基地縮小・返還と、国には平和憲法を活かす、外交力に力を注ぐように要請していきます。

爆音のない平和な空を取り戻そう

厚木爆同会員入会申し込みは下記へ 年会費 2,040 円